

当面の技術対策（畜産編）

令和元年6月15日

発行：ゆとりみらい21農業推進協議会指導

1 牧草の適期収穫

本年の牧草の生育は、平年より早く進んでいますが、好天により収穫作業も平年より早くおこなわれています。牧草の生育は、品種（早晩生）および地域によって異なるため、各ほ場の生育状況の観察をよく行い、適期に収穫を行いましょ。生育の判断は表1のとおりです。

表1 生育ステージの判断目安

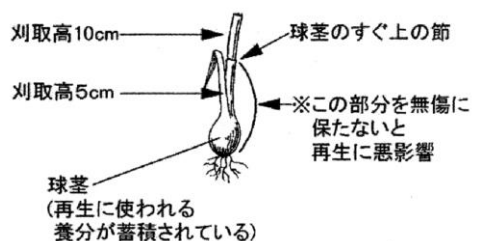
生育ステージ	判断の目安	南部平年値
出穂始	m ² 当たり2～3本出穂	6月12日
出穂期	m ² 当たり半分の個体が出穂	6月15日

2 牧草刈り取りの留意点

収穫時の刈り取り高は、その後の再生力や茎数確保に影響します。

チモシーにおいては「球茎のすぐ上の節」より高くなるよう、およそ10cmの刈り取り高を確保しましょ「図参照」。

刈り高を低くしすぎると春に散布したたい肥・スラリーや土砂の混入によりサイレージの品質悪化が懸念されるので、注意しましょ。



(Bergらの図を改変)

図

チモシーの球茎と刈り取り高

3 細断サイレージ調製の留意点

- 1) 切断長は10～12mm程度としますが、高水分で調製せざるを得ない場合は排汁を低減するため、長めに設定しましょ。
- 2) 良質発酵を目指し、予乾を実施しましょ。水分は、70～75%程度を目標としましょ。※ギ酸添加時はこの限りではありません
- 3) シャープな切断面を確保するため、モアコンやハーベスタの刃の研磨、調整を励行しましょ。
- 4) 各種サイレージ添加剤を使用する場合は推奨される添加量を厳守しましょ。ギ酸を添加する場合は、pHが4.0以下であることを確認する必要があります。
- 5) 踏圧作業は、原料草を30cm以下に薄く散らして十分に踏み込みましょ。また、サイロ壁際の踏圧もしっかり行いましょ。
- 6) 原料草の積み込み高は、バンカーサイロは側壁の高さ、スタックサイロは1.5m程度の高さを限度にすることで踏圧作業を十分に行うことができ、作業の危険性も低下します。
- 7) 運搬スピードと踏圧作業のバランスを考慮しましょ。踏圧車輛台数を増やしたり、サイロ2本同時詰めなど、踏圧重視の作業を徹底しましょ。
- 8) 積み込み後は、速やかに密封・加重しましょ。

4 一番草刈り取り後の施肥

- 1) チモシー主体草地は一番草刈り取り後、10日目くらいまでに追肥を行いましょ。
- 2) オーチャードグラス主体草地は、一番草刈り取り後、できるだけ早く追肥しましょ。